


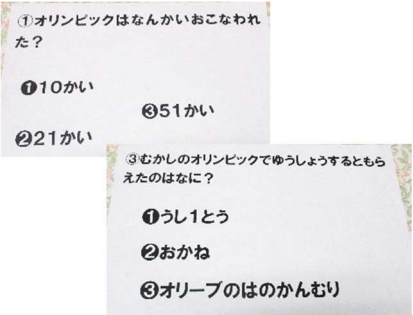
令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【愛媛県】

学校名【新居浜市立王子幼稚園】

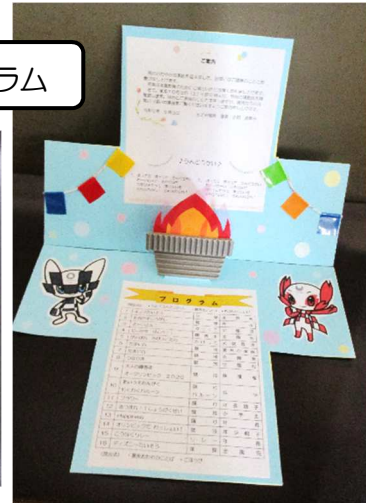
1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	新居浜市立王子幼稚園 園児27名（年中児12名 年長児15名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (運動会・作品展・講師招聘) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いたり、運動会や作品展、サッカー選手の話や実技指導などを通して、オリンピック・パラリンピックに興味関心をもつようになる。 ○ いろいろなスポーツがあることを知り、積極的に体を動かして遊ぶ楽しさ、諦めないで頑張ることの大切さをより感じてほしい。
5 取組内容	○ 事前指導「オリンピック・パラリンピックって何？」 クイズ形式で、オリンピック・パラリンピックの歴史や開催地、種目などについて知らせる。 保護者には、プリントを配布しこの事業に参加することを周知する。   ○ 運動会 10月3日（土）午前中 ・プログラム及び退場門、園児に渡すごほうびのメダルをオリンピック・パラリンピックを意識したものにした。 ・園児の入場の際は、1964年に行われたオリンピックで使

われたファンファーレや行進曲を流し、放送でも知らせた。
 ・プログラムの中に、オリンピック・パラリンピックを意識した種目を取り入れた。

プログラム表紙



プログラム



退場門



障害走



親子競技



ごほうびのメダル

- 作品展・バザー 10月30日(金)
- ・陸上競技、体操競技、サッカー、水泳競技の中から自分の製作したいものを選び、年長児は紙粘土、年中児は牛乳パックを使い製作した。
- ・好きな国旗を作り、それを使って2020の文字にしたり全園児の手形でオリンピックのマークにしたりした。





廊下側の表示



体操競技



水泳

年長児は、自分でオリンピックマークを切ってはり、
自分の名札を作って飾った。



サッカー



陸上競技



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児はオリンピック・パラリンピックの日本開催について興味関心をもち、延期になったが開催を楽しみにしている。 ○ 運動会では、入場行進や選手宣誓、退場門、メダル、プログラム、プログラムなどにオリンピック・パラリンピックを意識したものを取り入れた。保護者にも好評で、家でオリンピック・パラリンピックについて話題にのぼることも多くなり、いろいろなスポーツにより興味関心が高まった。 ○ 作品展では、自分の作りたい競技の動きをネットで見て準備したり、粘土や牛乳パックで創造しながら作ったり飾ったりして選手になった気持ちになり、より興味関心をもった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ クイズ形式の事前指導でオリンピック・パラリンピックについて興味関心をもてるようにした。 ○ 運動会や作品展とともに、視覚からオリンピック・パラリンピックというものがよくわかるように工夫した。 ○ 保育の中で、サッカーやリレー、マラソンなど体を動かして遊ぶ楽しさをより味わえるよう、園全体で取り組んだ。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染対策のため、予定していた取組ができなくなり、子供も保護者もとても残念に思っている。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスが収束したあと、取りやめた取組をできる限り実施したい。 (岡部ほのかさんが新居浜に帰省の際に園にきてもらう・スポーツ専門員のどなたかを招へいして一緒に楽しむなど)